

山形技術者倫理ニュースレター 第5号 (2024年3月)

発行：日本技術士会山形県支部倫理委員会

日本技術士会山形県支部の倫理委員会は、2023年度の活動として、第1回ワークショップを開催しました。今回は、講演(オンライン)とワークショップ(対面形式)を行いました。本号は、参加できなかった会員の皆様に紹介するため、ワークショップの内容を掲載します。なお、講演の詳細については、次号に掲載します。

令和5年度技術者倫理ワークショップ

1 第1回ワークショップ

日時：令和6年1月30日(金) 14:00～16:50

場所：山形テルサ 研修室A (山形市双葉町1-2-3)

参加人数：16名(山形県支部会員15名、SGEEの会会員(県支部会員以外)1名)

概要：須藤支部長挨拶のあと、大場准教授からオンラインによる講演を拝聴しました。

机配置替え後にワークショップのプログラムの説明、3班に分かれて、事例をもとに意見交換、最後に、各班からの内容発表を行いました。



須藤支部長挨拶

(1) 講演：「レジリエンスエンジニアリングとその実践」

講師：長岡技術科学大学 准教授 大場 恭子 氏

技術士PE(2023年11号)に技術者倫理シリーズ「組織連携による安全の実現」を寄稿

講演内容：レジリエンスエンジニアリングの考え方やこれによる安全を実現するために必要な4つのコア能力などについて(概要は、次号に掲載予定)



講演画面



会場状況

(2) ワークショップ

倫理問題事例「君ならどうする？（公共の安全と守秘義務 ××化学から〇〇コンサルタントに依頼された敷地内の土壌汚染調査）」について、事例確認を行った後に、登場人物や組織について「良いところ」、「悪いところ」、「改善策提案」について参加者間で意見交換を行った。

① ワークショップのプログラム

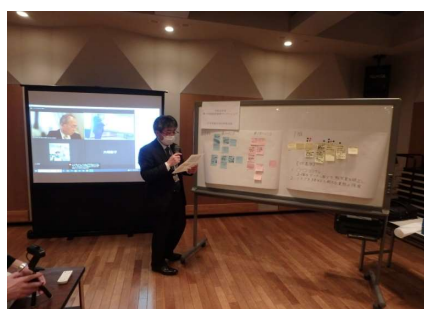
次第	目安時間	内容
説明	0～5分 (5分)	ワークショップ手順の説明を行います。
事例確認	5～10分 (5分)	事例を各自読み、登場人物、事実等を確認して、各登場人物の行動と組織(会社等)について、1人につき良いところ1つ(水色)、良くないところ1つ(ピンク)を、付箋紙にそれぞれ記入します。
現状認識	10～25分 (15分)	各班内で自己紹介と併せて付箋の内容を発表します。(1人2分) ①所属、名前 ②行っている仕事 ③各登場人物と組織の良いところ1つ、良くないところ1つを、班内で1人ずつ発表し用紙に貼付。その際、同様の内容の付箋は重ねて貼付(グルーピング)。
改善策	25～35分 (5分)	現状認識で出された意見を基に、改善策の提案を、1人につき2つ考えて、付箋紙(黄)に記入します。
提案	35～45分 (10分)	各班内で付箋の内容を発表しグルーピングを行って、提案項目をまとめます。
投票	45～55分 (10分)	各班内で提案項目の優先順位をつけます。優先度が高い提案にシールを貼って投票します。(1人2票)投票した結果を踏まえて改善策を決定します。
発表	55～70分 (15分)	各班から発表していただきます。(1班5分以内)



ワークショップ状況(1)



ワークショップ状況(2)



発表

② ワークショップでの意見内容

班分け：1班（6名）、2班（5名）、3班（5名）計16名

1) 事例の現状確認

各班から登場人物や会社に対しての意見が下表のとおり出されました。

良いところ	良くないところ
1班	1班
<p>【田川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改ざんできないと言ったところ ・××化学に出向いた際にデータ改ざんは出来ないと言った。 ・過去の事例を示して丁寧に説明・説得 ・調査報告の内容が適切 ・上司(部長)に相談したところ <p>【山岸部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公衆の安全、健康を優先にとアドバイス ・田川さんの相談を穏やかに受け、開示の重要性について、田川の考えをまとめたこと ・田川と一緒に××化学に行った 	<p>【××化学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの改ざんを要求した ・全く説得に応じない ・発注者として、データを改ざん、隠蔽は不適切 ・コンサルの意見を聞かなかった ・地下水汚染や情報リーク等で後になって、土壌汚染が外部に知られた場合のリスクを考えていない
2班	2班
<p>【田川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部長に相談したこと ・データ改ざん要求を突っぱねた。 ・過去の事例等の説明 ・対処方法について、真面目に取り組む姿勢 <p>【山岸部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益を優先しようとしたところ ・田川の拒否理由(根拠)資料の提供等、積極的にサポートした <p>【××化学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚染調査を依頼 	<p>【田川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注元が怒って、仕事をくれないと考えたこと ・解決策を提案しない <p>【山岸部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顧客に寄りそって考えていない ・部下と一緒に説明に行かない <p>【××化学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ改ざんを依頼した
3班	3班
<p>【田川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律を支える道徳的原理に基づいている ・汚染対策処理と直ちに実施すべきと勧告 ・上司に報告し善後策を相談した ・重要性をいろんな観点から懇切丁寧に説得 <p>【山岸部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益を優先しようとしたところ ・田川の拒否理由(根拠)資料の提供等、積極的にサポートした 	<p>【田川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務を守らなかったら仕事をもらえないという発想 <p>【山岸部長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当の田川だけで説明に行かせた <p>【××化学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準値内におさめるように指示 ・共通するルールや倫理に対する“軽視が見える” ・県への報告も汚染対策処理も即座に拒否した ・説得に応じない

2) 改善策の提案：各班において出された改善策に対する投票も行われました。

改善策	班投票
1班	
【〇〇コンサル】 ・第三者の意見を求めることを促す ・土壌汚染のリスク、隠ぺいすることのリスクを整理して伝える ・リスクを踏まえた今後の対応を提案する ・公益確保の観点から、関係機関に事実を報告する ・事実に基づき正確な報告書を提出する 【××化学】 ・将来のリスク、真実性の確保として検討の上事実を公表する ・他のコンサル、弁護士等に相談する ・契約に基づいて、〇〇コンサルの報告書を受け取る	★★ ★★ ★★ ★★ ★★ ★
改善策 1 正確なデータに基づき報告書を提出する【〇〇コンサル】 2 リスクを踏まえた新たな業務の提案【〇〇コンサル】	
2班	
【田川】 ・守秘義務より、公衆の安全を優先し、公表する ・汚染対策に向けて、モニタリング調査を提案する ・調査結果だけでなく、放置した場合リスクを伝える 【山岸部長】 ・対策について、顧客の立場に立って提案し、長期的には良いメリットを伝える 【××化学】 ・今後のことを考え、県への報告 ・〇〇コンサルの部長と話し合いをする ・定量的評価（対策をした場合の費用と被害が発生した場合の費用）を具体的に提示して説得 ・倫理研修	★★ ★ ★★ ★ ★★ ★★ ★
改善策 1 リスクの現状と将来的な懸念について説明（県にも報告）【田川】 2 部下と共に説得する【山岸部長】 3 リスクに対する定量的評価に取り組む【××化学】	
3班	
【〇〇コンサル】 ・対応方針を決めてもらう（状況によっては内部告発） ・社内で認識を統一し対応方針を決め、××化学に組織的にあたる ・最終的に社長（コンサル）が××化学の社長に説得を重ねる ・組織の連携、知識の共有 ・社内コミュニケーションのシステムを作る 【山岸部長】 ・社内全体の問題として、上にあげる 【××化学】 ・公衆の安全を最優先 ・分かりやすい資料をつくり、説得する	★★ ★★ ★ ★★ ★★ ★★ ★★ ★★
改善策 1 認識を統一し対応方針を決め、××化学に組織的に対応【〇〇コンサル】 2 公衆の安全を最優先した行動【××化学】	

編集後記

本年度は、産学官合同セミナーが開催されたため、スケジュールとして1回のワークショップとなりました。外部講師による講演（オンライン）を組合せて最新の専門知識が学べるように、試行したところ参加者の皆様からは概ね好評でありました。

今後も**技術者倫理**に関する話題について、不定期ではありますが、皆様のお役に立てるような情報をお届けしていきますので、引き続きお読み頂きたいと思っております。（安達記）